

よこすか 働き人

VOL. 30

YOKOSUKA HATARAKI-BITO

未来は、この一瞬の積み重ね

少し先の目標にベストを尽くす

福祉は感性

私は、ホテルレストランの調理師から福祉業界への転職をきっかけに横須賀に引っ越して来ました。三十歳を過ぎ、料理の仕事は好きでしたが、もう少し人と関わる仕事がしたいと思い、ヘルパーの資格を取りました。知人から紹介された施設に勤めることになったのがこの世界に入ったきっかけですが、働き始めた頃は、障害について知識がなかったとまどいと、新天地での心細さで寂しかったことを今でも思い出します。現在のサポートセンターかいふうに移り6年目、今は利用者さんとの関係性が深まり、風光明媚な横須賀で楽しく仕事をしながら



くりはら たかひろ
栗原 貴大さん

サポートセンターかいふう 入職6年

ら、ずっと住み続けたいと思っています。

仕事は、幾つかあるグループの取り纏めで、体が動かせる人たちは、畑仕事や海岸の清掃作業などで積極的に外へ連れ出しています。仕事に就いて少し分かった事は、「福祉は感性」が大事なんじゃないかと感じています。知識があればいいという訳ではなく、カテコライズされない視野で豊かな感性を磨く事が、仕事にも生きてくると思っています。チャリティーフェアやクリスマス会、スポーツ大会等の盛り沢山のイベントも実施しています。一人ひとりの個性に合わせた内容で、利用者さんが自分で選択し本物の体験ができることを常に考えています。

残り30%の補助で100%に

初めてのMTTはどうして良いのか分かりませんでしたが、初対面の生徒と、テーマに沿った話をするのがミッションでした。私は、子どもたちが話しやすい状況をつくるため、緊張をほぐす事から始めました。お互いにも情報がない中から、どんな人なのかを知り、限られた時間内で考えを引き出す難しさも経験しました。子どもた

ちは、「福祉」＝「老人介護」のイメージが強く、障がい者についても分からない事が多いため、辛い仕事と思われていました。多くの人が知らない事で誤解をされていて、知っている私たちにしか話せない事があると思えました。利用者さんとは、言葉のコミュニケーションが無理でも、相手に伝わる表現を探し、私達が安心できる存在である事を伝えて信頼関係を築く努力をしています。私たちは、利用者さんが行なった70%の残り30%を補助し、100%にするのが仕事です。健常者でも一人で仕事をしている訳ではないので、どんな仕事も変わりはないと、中学生に話しています。

未来は、一瞬の積み重ね

子どもたちには必ず、夢を聞くようにしています。子どもたちの夢には雑念がなくキラキラと話す姿が良いです。夢はどんな形であれ、持ち続けて欲しいし諦めないで欲しいです。私も、精神面を鍛える為に習っている趣味の極真空手で、子どもたちの育成を手伝っています。いつか黒帯を取って指導者になるのが私の夢です。子どもたちを見て思うのは、大人も一緒になっ

地元にも、きっとあなたに向いている仕事がある

支援課係長 奥村 倫子さん

私は、MTTに2度参加し、仕事では話すことがない中学生との機会を大事にしたいと思いました。この取り組みはとても良いと感じ、いろいろな部署から参加し、さまざまな形で障がい者を支えています。みんな大切にされている事を伝えたいと思っています。実際には接してみないと分からない、仕事もピンとこなくて当然ですが、家族や身近な人、自分を含め、いつ人のお世話になるかわかりません。地域にある施設でこんな仕事をしている人がいる事をなんとなくでも知ってもらえるだけでいいと思っています。

ディスカッションでは、ストレートな質問や、ありのままの表現が中学生とのナチュラルな会話を楽しめると思います。見たことがない職種の方と出会えるのは、大人でも面白く、中学生にとってもイメージにくい仕事の話や地域の職業人から聞けるのは楽しいと思います。MTTも仕事を客観視でき、行く前の緊張は、終わる頃には楽しさになっています。「こうすれば良かったかな」と、反省の声も聞かれるほどで、参加に満足し、帰った時のスッキリとした笑顔に現れています。これからも、できる限り参加したいと思っています。

人は最終的には、人の手が必要で、MTTの関わりも人の力です。私たちのプログラムでの話が、将来、困っている人に親切にできる心のゆとりが芽生えてくれたらありがたいと思います。若い方が、会社がたくさんある都会に目を向けるのも仕方のない事ですが、「あなたに向いている仕事は地元にもきっとある」、と思っています。キャリア教育プログラムをきっかけに、早い時期から地域社会に注目してくれたらと思っています。

て汗を流す経験をして欲しいと思います。共有の体験は共感も生まれると思います。

MTTで中学生と話す機会を頂いて、自分の過去を振り返ってみると、厳しい料理業界は、「仕事は盗んで覚えるもの」それが私たちのスタンダードでした。考えられない過酷な現場でしたが、だからこそ今の自分があると思っています。今の子にその厳しさが通用するとは思っていませんし、今は今で大変な時代です。その子なりの経

験を積んで身を立って欲しいと思います。できれば人が嫌がる事を率先してやる事、謙虚である事はどんな職場でも大切な事だと思っています。

未来は、一瞬の積み重ねです。毎秒楽しく生きる事、あまり先に目標を置いてしまうと悩みが増えてしまうから、少し先の目標に向かってベストを尽くす。何でもないような事でも、小さな積み重ねをしているうちに、後になって効いてくるかも知れません。



MTTとして多くのスタッフが活躍中です！

社会福祉法人 海風会 サポートセンターかいふう

〒239-0802 神奈川県横須賀市馬堀町 2-17-33

TEL. 046-835-1362 Fax. 046-833-1559

URL ; <http://www.kaifukai.or.jp/>

事業内容：知的障害者福祉事業

横須賀市内に7カ所の支援施設とケアホームを運営

経営理念：地域福祉の拠点を担い、地域社会に貢献し、共有してまいります。教育理念と支援サービスの基本として、「愛情・誠意・忍耐」を実践してまいります。